

経営協議会報

総務部 総務企画課

○ 日 時 平成22年6月2日(水) 経営協議会

* 審議に入る前に、学長から、4月1日付けで新しくお茶の水女子大学教授の竹村委員が就任した旨の紹介があった。引き続き、4月1日付けで山里副学長が就任した旨の紹介があった。

審議事項

(1) 法人評価

(1)-(1) 平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書(案)について

(1)-(2) 平成20、21年度中期目標の達成状況報告書(案)について

(1)-(3) 現況分析における顕著な変化についての説明書(案)について

(1)-(4) 観光産業科学部・観光科学研究科の現況調査表(案)について

新里副学長から、上記(1)-(1)から(1)-(4)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、基本的には原案について了承されたが、委員の意見を踏まえ、必要な修正を加えることとなった。

なお、審議に当たって、委員から、主に次のような発言があった。

- ・ 事前に送付された資料が未完成の内容のままなので困る。資料については、学内で内容をしっかり確認した上で送付いただきたい。
- ・ 否定的な表現は出来るだけ避けるようにし、達成に向けての現段階での取り組み状況等を記載した方がいいのではないか。
- ・ 平成20年度及び21年度における中期計画の実施状況では、平成19年度までの取り組みを基準として、一括りに記載されているが、年度毎に分けた実施状況を記載すべきではないのか。
- ・ 全国の86の国立大学法人の中で、評価結果が84位であることへの危機感のなさがあるのではないか。
- ・ 評価結果が悪かった要因の一つは、評価センターが十分に機能しなかったことにあるのではないか。
- ・ 各学部等からの報告書については責任の所在を明らかにし、締切を守らせるように取り組んでいただきたい。
- ・ 外部と内部の評価結果の落差が大きすぎる。もっと厳しい視点で自己評価をし、改善に向けて取り組んでいただきたい。
- ・ 中期計画が300項目近くあり、重要度が分かりづらい。琉球大学として最重要項目が、どのような評価を受けたのか、外部委員でも分かるように、提示していただきたい。
- ・ 各学部等から提出される報告書のレイアウトや文章を確認する担当者と専門的な評価を行う担当者を置くことによって、複眼的な視点から報告書の内容や文章が収斂されていくと思われる。

(2) 大学機関別認証評価

・ 自己評価書(案)について

新里副学長から、大学機関別認証評価自己評価書(案)について、資料に基づき説明があった後、11月に大学評価学位授与機構による現地調査を受ける予定である旨の補足説明があった。

審議の結果、基本的には原案について了承されたが、委員の意見を踏まえ、必要な修正を加えることとなった。

なお、審議に当たって、委員から、主に次のような発言があった。

- ・ 改行のミス、百分率の算出法の間違い及び表中の文字が不揃いになっていること等、細かな配慮が足りず、単純なミスが多い。
- ・ 資料6-1-3-4では、教育学部及び教育学研究科のみ、具体的な数値を用いた説明がなされておらず、他の学部及び研究科と比べ、統一性がないように感じる。
- ・ 資料5-5-1-3のその他(注目される取組)に、「紀要への出稿を勧める」とあるが、学生の研究のレベルアップのためには国内外の専門誌への出稿を積極的に勧めるべきではないか。
- ・ 学内の紀要に外部評価は入るのか。入るのであれば、紀要に外部評価がある旨を追記するだけで、位置づけが変わるのではないか。

(3) 農学研究科修士課程の改組について

大城副学長から、農学研究科修士課程の改組について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。なお、現在文部科学省との折衝中であり、内容について今後さらに調整していく旨の発言があった。

(4) 平成23年度概算要求事項（案）について

親川副学長から、平成23年度概算要求事項（案）について、資料に基づき説明があり、了承された。

なお、親川副学長から、学内で順位付けを行った後、6月17日までに文部科学省へ提出したい旨の説明があった。

(5) 平成21年度決算（案）について

親川副学長から、平成21年度決算（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(6) 学長選考会議委員（経営協議会代表）の選出について

学長から、「学長選考会議規程」に基づき、経営協議会学外委員を学長選考会議委員（経営協議会代表）に選出することでよいかとの発言があり、審議の結果、了承された。

報告事項

(1) 平成21年度施設整備補助金等事業報告について

親川副学長から、平成21年度施設整備補助金等事業報告について、資料に基づき報告があった。

(2) 沖縄県地域医療再生計画による事業の実施について

親川副学長から、沖縄県地域医療再生計画による事業の実施について、資料について説明があった。

(3) その他

① 琉球大学開学60周年記念事業について

学長から、5月22日に開学60周年記念式典及び祝賀会が無事に終了した旨の報告及び謝辞があり、引き続き、宮城副学長から、開学60周年記念事業の報告があった。

また、宮城副学長から、開学60周年記念事業募金は来年の3月まで引き続き取り組んでいく旨の説明があった。

② 琉球大学名誉博士称号の授与について

学長から、開学60周年記念事業に併せて、6名の方に琉球大学名誉博士号の称号を授与した旨の報告があった。